

動されているエピソードもうかがいました。その中でも、なるほどと思ったのは「もてて、もてて困っちゃう」という子どもさんのグループ活動で自分の服装(ファッションチェック)、言葉づかい、全体の雰囲気は・・・等の良否を街行く人に尋ねるといった内容でした。これはなかなか勇気のいる行動ですが素晴らしいアイデアだと思いました。私も思わず我が子のそういう姿を想像して心の中で大爆笑しました。

最後に我が子のためにやるべき事をどんな小さな事でもいいので、1年間かかって実行してみよう、とにかく取り掛かろう、100の会議より1つの行動、親が声を上げ、運動を始める事が大切ですと締めくくられました。

私も今から何を始めようかと、あれこれ考えながら実現に向けて行動したいと思いました。



### 全国障害者スポーツ大会が開催されました

西区事業所 茶谷 大彦  
ぼると 池田 直子

10月12日(土)から14日(祝)まで第13回全国障害者スポーツ大会が東京都で行われました。

今年は、泉原部長が副監督、池田がボウリングのコーチとして、昨年に引き続いて茶谷が陸上競技のコーチとして参加しました。コーチも選手も新しい顔触れが多く、顔合わせの頃から今年の大会が楽しみでした。

今大会の大阪市選手団は、大会役員が35名、個人競技(陸上競技・水泳・アーチェリー・卓球・フライングディスク・ボウリング)44名、団体競技(グラウンドソフトボール・バスケットボール)36名の総数115名でした。

大阪市選手団は、開会前日の11日に集合して東京まで移動したのですが、新大阪駅に8:50集合のところ、選手の中には待ち遠しくて一番乗りが6:30という方もいたようです。

東京に到着後、すぐにボランティアの皆さまと合流し、陸上チームはメイン会場となる調布市の「味の素

スタジアム」に向けて、ボウリングチームは同じく調布市の調布スポーツセンターに向けてバスに乗って移動し、明日からの本番を控え各競技とも公式練習となりました。陸上チームは会場に到着後、1時間近く軽く汗を流しました。茶谷は今回視覚障がいの方が出場されます女性選手の伴走をすることになりました。

11日の夜には競技ごとにそれぞれの宿舎で、激励会が行われ、笹野井理事長が駆けつけて下さいました。

大会初日の12日は朝から開会式が行われる味の素スタジアムに向かいました。9時からオープニングプログラムの後、10時から開会式でした。10月にしては暑すぎる気温で汗をかきながらの状況でした。

開会式終了後から早速、陸上もボウリングも競技に入りました。陸上の方は会期中の3日間にわたりトラック、跳躍、投てきの各種目が行われます。一方、ボウリングの方は、調布スポーツセンターに会場を移し、12日に2ゲーム、13日に2ゲームの合計4ゲームの倒れたピンの合計数を競います。競技が始まると、選手たちはボールを投げる前に集中。ストライクが出てガッツポーズする選手、ピンが残り首を傾げたりする選手、一投一投が真剣勝負でした。1日目の試合後、宿舎に戻ると20時半を過ぎていました。長い1日となり、選手の皆さんは少々お疲れのご様子でした。

大会二日目の13日は朝から競技でした。陸上の方では茶谷が伴走する女子視覚障がいの競技があり、プレッシャーが肩にのしかかる中、二人の息も合い見事、大会新記録を出し優勝しました。1分以上も大会記録を更新したそうで、その時は本当に嬉しかったです。一方、ボウリングの方では今日の結果で巻き返す可能性も十分にあり、大阪市のボウリングの選手6名は気合いを入れ直して今日の試合に臨みました。逆転して1位になった選手、残念ながらメダルに届かなく悔しそうな表情の選手、今回の大会では、大阪市のボウリングチームは4人の選手がメダル獲得となりました。それぞれの結果でしたが、6人ともお互い声を掛け、励ましあいながら頑張った結果のように感じました。

大会最終日の14日は、味の素スタジアムで朝から陸上競技が行われ、夕方からは閉会式でした。閉会式後のファイナルステージでは、東日本復興支援としてEXILEのメンバーと、福島県と東京都内の中学生が「Rising Sun夢の課外授業」として一緒にダンスを披露されていました。短い時間でしたがとても盛り上がりました。

大会期間中には、多くの役員さんやボランティアの皆さんに大変お世話になり、ありがとうございました。